

TARCセンター長新任ご挨拶

このたび帝京大学臨床研究センター (Teikyo Academic Research Center; TARC) のセンター長を拝命しました。専門は産婦人科学ですが、前任の東京大学では副院長として6年間大学病院全体の研究管理業務にも携わっていました。今回着任して帝京大学の臨床研究のポテンシャルがとても高いことを知り、そのポテンシャルを最大限に引き出すお手伝いをできることを有難く思っています。日本の医学は明治時代におけるドイツ医学の導入以来、基礎研究を重視してきました。このため基礎研究を前提に様々な基盤整備がなされてきた歴史があります。その後、20世紀の終わりになりEBMが欧米から日本に導入され、臨床の最前線の意識は大きく変化したと思います。しかしながら、明治以来の歴史のため臨床研究の基盤整備が遅れてきたのが我が国の実情でした。そのような中でいち早く2012年に寺本民生教授がTARCを立ち上げられたことは慧眼であったといえます。私はこれまで発展してきたTARCをさらに発展させ、帝京大学の臨床研究を質・量ともに高めていきたいと考えております。

TARCは臨床研究の「プロ」である職員によって構成されています。臨床医などの皆様においては医療や薬品・医療機器の開発の現場において様々な着想を得られるかと存じます。そのような芽を上手に育むにはその道の「プロ」の力が必要です。臨床研究を始めたいという皆様はいつでも気軽にTARCにご相談ください。様々な角度からお役にたてるサポートをいたします。また、TARCでは臨床研究が皆様の身近な存在になるよう多くの啓発・教育活動をおこなっています。TARCセミナー、臨床研究公開講座、インターンシップなど工夫を凝らしたプログラムが用意されています。いまや我が国も臨床研究を重視する方向へ大きく舵を切りました。やっと国としての基盤もしっかりと整えられてきました。今後のよりよい医療のために帝京大学の皆様と一緒にお仕事ができることを幸せに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



帝京大学臨床研究センター
センター長 教授
大須賀 穰 先生

新任ご挨拶



帝京大学臨床研究センター教授
研究支援センター長
森豊 隆志 先生

2025年4月1日付で帝京大学臨床研究センター教授に就任いたしました。研究支援センター長として学内外の研究者の臨床研究支援業務に携わります。私は1986年に鹿児島大学医学部を卒業後、神経内科医として臨床、研究に従事しました。1992年には米国ミネソタ大学医学部に留学してHTLV-I関連脊髄症の病態機序解明に関する研究を行い、その成果を纏めて博士(医学)を取得しました。2003年に愛媛大学医学部附属病院創薬・育薬センター准教授・副センター長に就任し、自ら多数の治験・医師主導臨床試験を実施すると共に、病院内の臨床研究の支援を行いました。2010年に医薬品医療機器総合機構(PMDA)に異動し、治験相談・承認審査・GCP調査などに従事した後、2012年に東京大学医学部附属病院に異動し、フェーズ1ユニットの開設を担当しました。2018年には臨床研究支援センター(現、推進センター)教授・センター長に就任し、臨床研究中核病院である東大病院の臨床研究を推進すると共に、国立大学病院臨床研究推進会議の代表幹事、ARO協議会理事などを兼任し、我が国の臨床研究推進にも努めました。

臨床研究により新しい医療技術を創出したり、科学的根拠(エビデンス)に基づく最適な医療を確立することは、人々の健康福祉と医学の発展に貢献する重要な位置付けにあります。これからも臨床研究の推進と発展のために、微力ながら貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

新スタッフ紹介

臨床研究センター 助教 響谷 学

2年間の出向より帰任いたしました。出向先の独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)では調査専門員として、主に再審査適合性調査を担当しました。PMDAでは信頼性の考え方や行政組織や法令の在り方について学ぶことができ、今後は帝京大学の先生方の研究支援でその経験を還元していきたいと存じます。また、PMDA相談の際にも何かしらお力になればと思います。

臨床研究センター 特別専門員 福島 綾子

TARCのNew Memberとして勤務しております。これまでのビジネス経験の中でアカデミアは初めてとなります。外資系製薬企業とは異なる環境の中で、勉強させていただくことも多く、新鮮な驚きと発見の連続です。Global Project等の臨床試験等を経験して参りました。今後はこれまでの経験を生かし、先生方のお役に立てるよう精進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

TARCからのご案内

① 臨床研究学公開講座のお知らせ

臨床研究を実施する力を身につけることを目標とし、10テーマについて23講義を6月9日より公開する予定です。ご質問の多いプロトコルにおける統計解析を始め、臨床研究における個人情報の保護や倫理指針、システムティックレビューなど、臨床研究の計画、実施にあたって、より実践的な内容となっております。公開講座へご登録いただき、ぜひご覧ください。



事前登録URL

<https://forms.office.com/r/Rn5ydYVncP>

テーマ	
臨床研究の進め方と支援体制	臨床研究における解析-基礎
研究デザイン	臨床研究における解析-メタ解析
倫理審査のポイント	臨床研究の質・結果の公表
臨床研究体制の構築	承認審査(PMDAとは)
臨床研究のデータ管理	データベース研究・システムティックレビュー

講義内容については、TARCのホームページ<https://teikyo-tarc.jp/>のイベントでご確認ください。

② 第15回TARCセミナーのご報告およびオンデマンド配信について

2025年2月26日に第15回TARCセミナーを開催いたしました。多くの方々にご参加いただきました。御礼申し上げます。今回は「臨床研究とARO～今日からできる臨床研究はじめての一步」と題して、日本医科大学医学部医療管理学特任教授、研究統括センター副センター長 松山琴音先生に、知っておくと良い規制や臨床研究の計画準備に必要なこと、さらにAROの活用方法についてお話しいただきました。参加者からは、研究の基本的な考え方がとてもわかりやすく、重要なポイントが理解できました、といった声が寄せられました。

現在、上記セミナーのオンデマンド配信をしております。視聴ご希望の方は、下記のe-mail、もしくはTARCホームページのお問合せフォームよりご連絡ください。

TARC Vol.20



発行日 2025.6
発行元 帝京大学臨床研究センター
発行人 大須賀 穰

e-mail tarc-info@med.teikyo-u.ac.jp
URL <https://teikyo-tarc.jp>

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL 03-3964-1211 (代) 内線45062